

# 新春のご挨拶



西日本電信電話株式会社 代表取締役社長 村尾 和俊

新年あけましておめでとうございます。

平素よりNTT西日本グループの事業運営に、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

去年は、北部九州で発生した豪雨災害に対して、災害発生直後から、昼夜を問わず全力で支援・復旧活動に取り組んでいただき、協会会員各社の皆様には、多大なご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化、地域格差、自然災害、インフラ老朽化をはじめ、教育、保育、医療、観光、農業など様々な分野で課題が顕在化するとともに、高度化、複雑化しています。

今や企業には、経済的発展だけではなく、様々な社会課題の解決への貢献が強く求められています。

NTT西日本グループでは、「社会の課題解決に貢献する企業」との事業方針に則り、国連が推進している「SDGs」への取組みを織り込み、昨年末、CSR活動方針の見直しを行いました。

ICTが社会課題の解決に重要な役割を担っているとの考えのもと、「社会の抱える課題解決に貢献する企業」を目指し、引き続き取組みを進めてまいります。

具体的には、光コラボレーションモデルやパートナー事業者様と共に取り組むアライアンスビジネスを

通じて「光サービス」を拡大しつつ、無線系のWi-Fi、LPWA、LTEなどを加えたIoTネットワークを基盤に、IoTクラウドによる付加価値を提供し、町づくり、観光振興、防災、老朽インフラ、教育・保育、健康・介護、農業など様々な分野で、「スマート光ソリューション」を提供していきます。

これらの取組みに合わせ、グループ会社でも自社の強みを活かしながら、セキュリティビジネス、クラウドビジネス、コンタクトセンタビジネス、テクニカル・サポートビジネスやWi-Fi関連ビジネス、不動産関連ビジネス、更にはスマートフォン向けのコンテンツビジネス、省エネ関連ビジネス等を通じて、NTT西日本グループの成長ビジネスを更に拡大・発展させてまいります。

平成11年の西日本会社発足以降、電話加入数は3分の1の1000万となる一方、当時は未提供だった「光サービス」は昨年8月に900万契約を突破しました。このような事業ドメインの激変を受け、サービス、業務内容等も大きく転換する時期を迎えました。現在、「光サービス」のマイグレーションに全社をあげて取り組んでいますが、更に、今後は、固定電話系ネットワークのマイグレーションなどの施策に取り組んでまいります。

設備分野においては、建物の外壁、電力装置、橋梁添架管路、電柱、引込線等の設備健全化に計画的に取

り組み、設備の信頼性をしっかりと守りつつ、競争力のあるネットワークサービスを実現してまいります。また一方では、効率的な業務運営をめざし、オンサイト保守と遠隔コントロールを効率的に組み合わせた「スマート・オペレーション」に引き続き取り組んでいきます。

現在、NTT西日本グループでは「ダイバーシティ活動」を進めていますが、この取り組みの中で、社員個人の「持ち味」を大切に「自分らしく」チャレンジする職場づくりや、「女性社員の活躍推進」を通じて、各種の環境整備、育児休暇支援等の施策を進めつつ、あわせて女性目線からのKAIZEN活動にも引き続き取り組んでいきます。

また、現在、職場の実態から課題を掘り起こし、働きがいのある職場づくりをめざした「働き方改革」を

進め、労働時間の短縮や効率的な仕事への見直しに取り組んでいますが、更に「定型業務の効率化」から「予測、分析、戦略分野」まで幅広い仕事にAI等の導入を進め、魅力ある企業へ発展するための取り組みを進めていきます。

よりよい社会を創り出すために、ICTで、社会のあらゆるモノ・コトをつないでいく。より広く、より多くのつながりが、思いもよらない成果や新たな可能性を生み出す。その挑戦を続けていく所存ですので、引き続き、通信建設に関わる事業者の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

